

2023年12月期 決算説明資料

日本エマージェンシーアシスタンス株式会社

Emergency Assistance Japan (EAJ)

証券コード：6063

目次

- 決算業績サマリー
- セグメント別業績ハイライト
- 財政状態
- 事業・サービスの状況
- 会社情報（会社概要、EAJのミッション等）



Emergency Assistance Japan

— アシスタンスで
お客様の世界を広げる —

決算業績サマリー

決算業績サマリー①

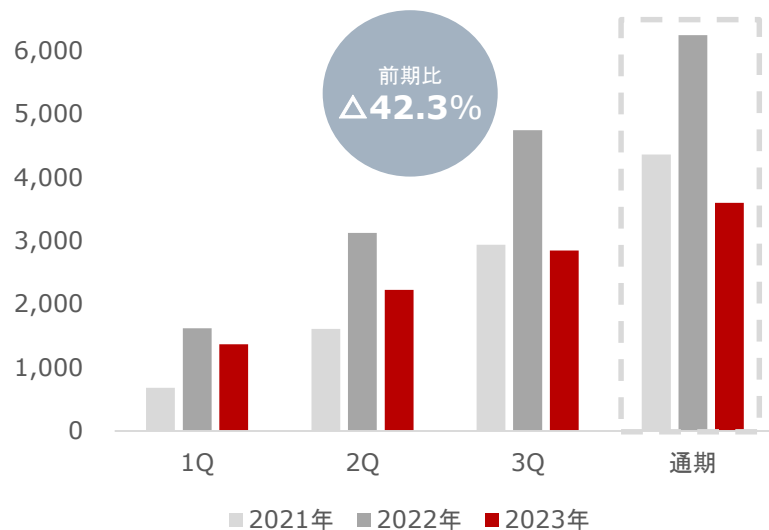
- ◆ 海外旅行保険付帯の医療アシスタンスサービス等既存事業は、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準には戻っていないものの、足元では着実に回復の兆しが見られる。
- ◆ 厚生労働省から受託していた新型コロナウイルス感染症関連事業が5月末で終了した影響により、売上高は前期比で減少。

(単位：百万円)

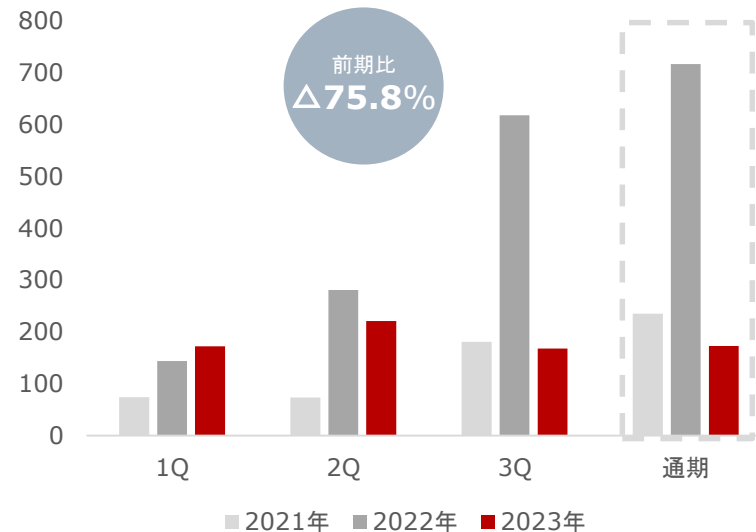
	2022 通期	2023 3Q	2023 通期	対前期 増減額	対前期 増減率	対前四半期 増減率
売上高	6,241	2,845	3,598	△2,642	△42.3%	26.5%
営業利益	717	168	173	△543	△75.8%	2.9%
経常利益	729	188	181	△548	△75.2%	△3.9%
当期純利益	500	130	119	△380	△76.0%	△7.9%

決算業績サマリー②

売上高



営業利益



	2021年	2022年	2023年
通期	4,358	6,241	3,598
3Q	2,935	4,745	2,845
2Q	1,607	3,122	2,224
1Q	677	1,618	1,364

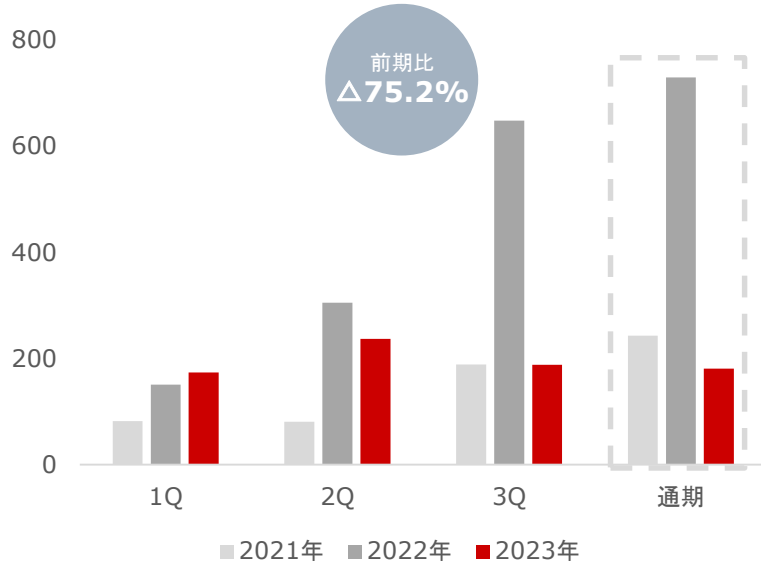
(単位：百万円)

	2021年	2022年	2023年
通期	235	717	173
3Q	181	618	168
2Q	73	281	221
1Q	74	144	172

(単位：百万円)

決算業績サマリー③

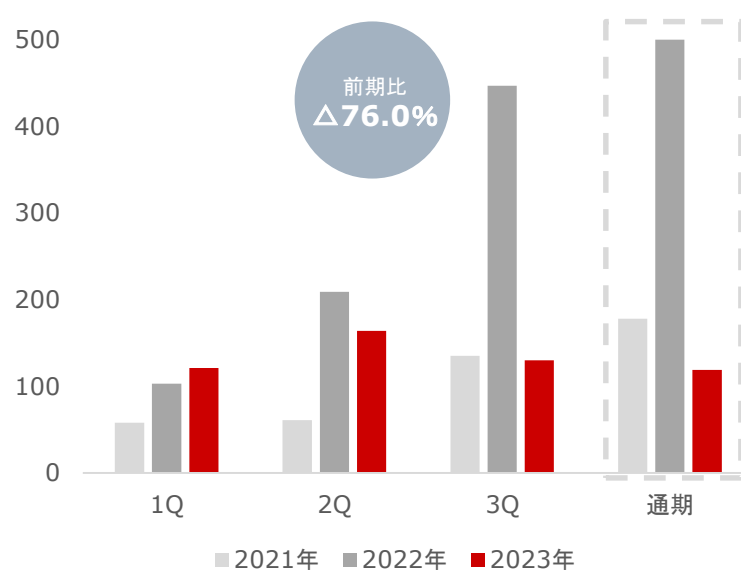
経常利益



	2021年	2022年	2023年
通期	243	729	181
3Q	189	648	188
2Q	81	305	237
1Q	82	151	174

(単位：百万円)

親会社株主に帰属する当期純利益



	2021年	2022年	2023年
通期	178	500	119
3Q	135	447	130
2Q	61	209	164
1Q	58	103	121

(単位：百万円)

Emergency Assistance Japan

— アシスタンスで
お客様の世界を広げる —

セグメント別業績
ハイライト

セグメント別業績ハイライト①

セグメント合計

売上高	利益
3,598 (百万円)	173 (百万円)
前期 6,241 (百万円)	前期 717 (百万円)

医療アシスタンス事業

売上高	利益
3,184 (百万円)	564 (百万円)
前期 5,821 (百万円)	前期 946 (百万円)

医療アシスタンス事業

要因

- 海外旅行保険付帯のアシスタンスサービス → ウィズコロナにともない出国日本人数が徐々に増加傾向にあり、売上高は前期比で増加
- 法人向けアシスタンスサービス → 売上高が前期比でやや増加
- その他新規事業 → 厚生労働省から受託した新型コロナウイルス感染症関連事業は終了

ライフアシスタンス事業

売上高	利益
414 (百万円)	78 (百万円)
前期 419 (百万円)	前期 160 (百万円)

調整額 ※

売上高	利益
- (百万円)	△470 (百万円)
前期 - (百万円)	前期 △389 (百万円)

- ※ 調整額とは、各報告セグメントに配分していない全社費用を表す。
- ※ セグメント利益の合計額は連結損益計算書の営業利益と一致する。

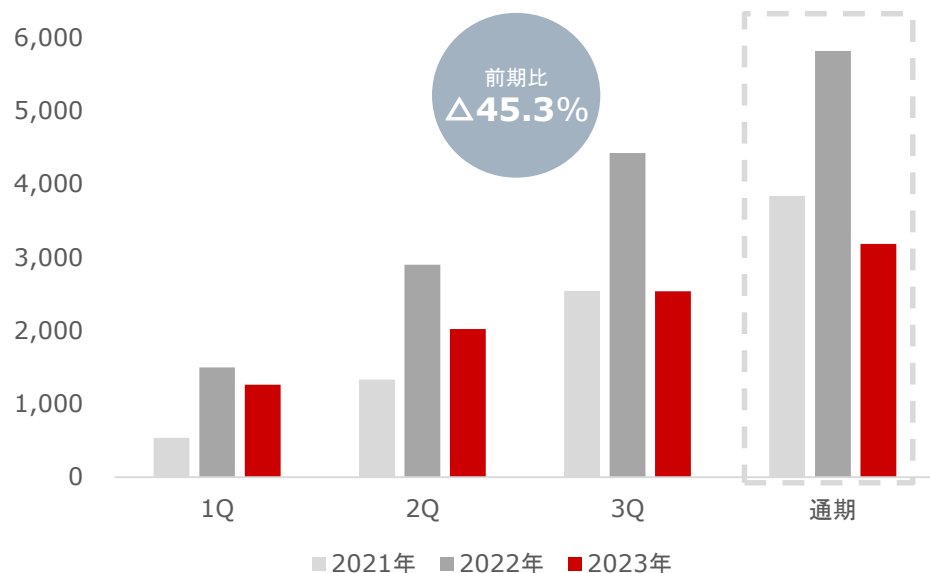
ライフアシスタンス事業

要因

- ライフアシスタンス事業 → 売上高が若干減少

セグメント別業績ハイライト②

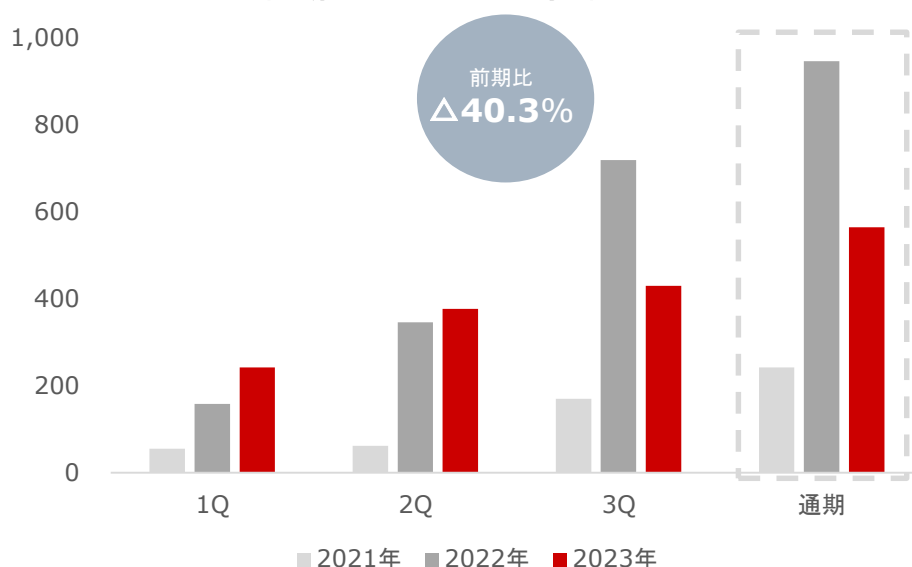
医療アシスタンス事業 売上高



	2021年	2022年	2023年
通期	3,842	5,821	3,184
3Q	2,541	4,424	2,539
2Q	1,331	2,899	2,022
1Q	536	1,498	1,264

(単位：百万円)

医療アシスタンス事業 利益

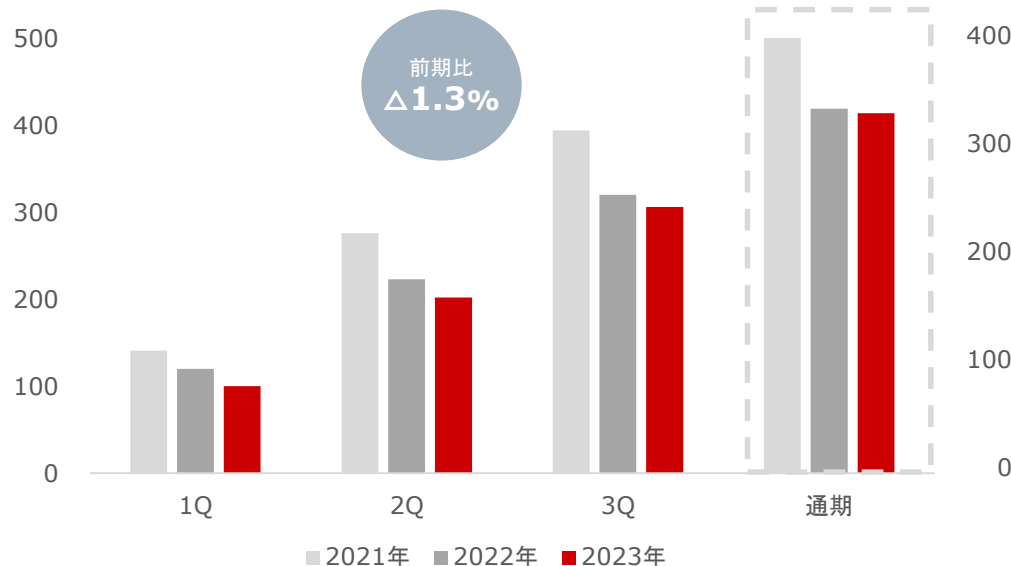


	2021年	2022年	2023年
通期	242	946	564
3Q	170	719	430
2Q	62	346	377
1Q	55	158	242

(単位：百万円)

セグメント別業績ハイライト③

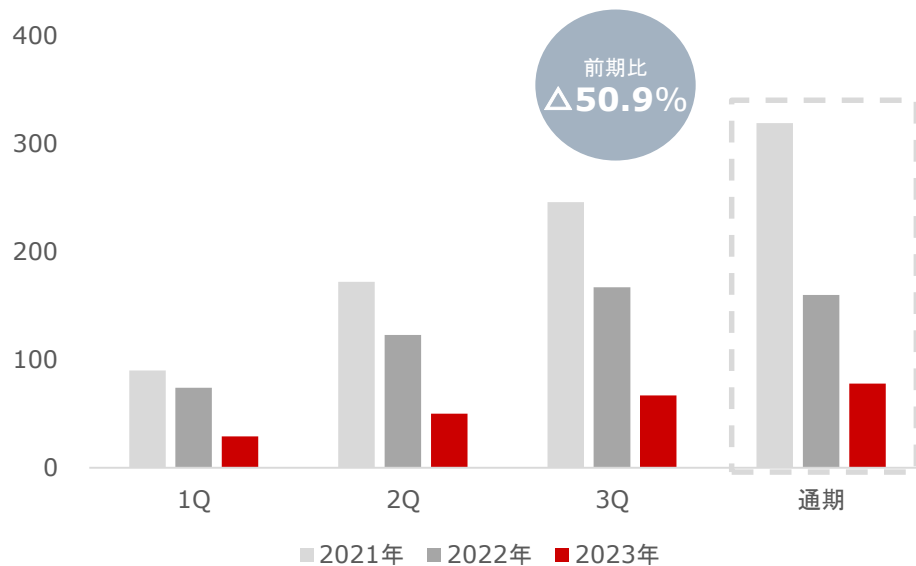
ライフアシスタンス事業 売上高



	2021年	2022年	2023年
通期	516	419	414
3Q	394	320	306
2Q	276	223	202
1Q	141	120	100

(単位：百万円)

ライフアシスタンス事業 利益



	2021年	2022年	2023年
通期	319	160	78
3Q	246	167	67
2Q	172	123	50
1Q	90	74	29

(単位：百万円)

Emergency Assistance Japan

— アシスタンスで
お客様の世界を広げる —

財政状態

連結貸借対照表

資産合計

構成比
100%

3,685 (百万円)

2022年
期末 **3,932** (百万円)

負債合計

構成比
53%

1,971 (百万円)

2022年
期末 **2,326** (百万円)

純資産合計

構成比
47%

1,713 (百万円)

2022年
期末 **1,605** (百万円)

流動資産

3,460 (百万円)

2022年
期末 **3,693** (百万円)

流動負債

1,937 (百万円)

2022年
期末 **2,299** (百万円)

固定資産

225 (百万円)

2022年
期末 **239** (百万円)

固定負債

33 (百万円)

2022年
期末 **27** (百万円)

資産

- 立替金の増加
- 現金及び預金、
売掛金及び契約資産、仕掛品の減少

負債

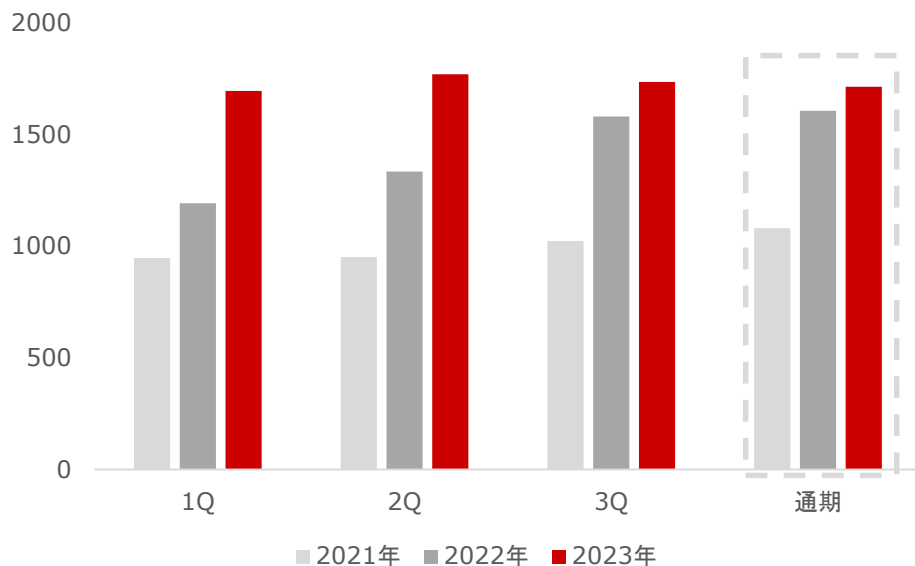
- 短期借入金、未払金、
未払法人税等の減少
- 契約負債の増加

純資産

- 利益剰余金、為替換算調整勘定の増加

財務状況

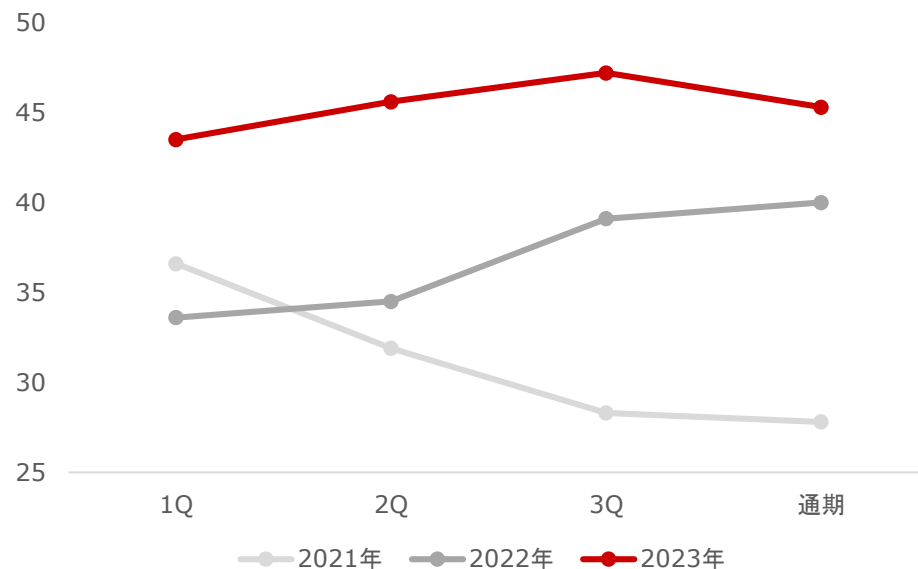
純資産



	2021年	2022年	2023年
通期	1,080	1,605	1,713
3Q	1,022	1,580	1,735
2Q	951	1,334	1,769
1Q	947	1,191	1,694

(単位：百万円)

自己資本比率

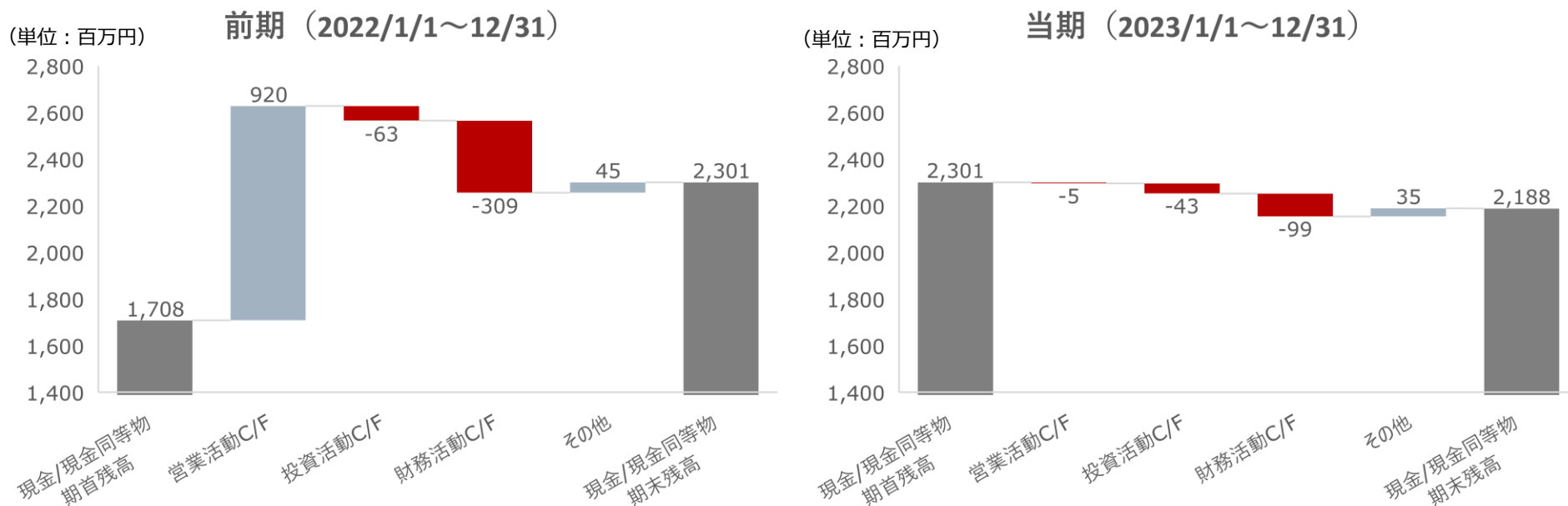


	2021年	2022年	2023年
通期	27.8	40.0	45.3
3Q	28.3	39.1	47.2
2Q	31.9	34.5	45.6
1Q	36.6	33.6	43.5

(単位：%)

キャッシュ・フローの状況

- 当連結会計年度の現金及び現金同等物の期末残高は、2,188百万円（前連結会計年度は2,301百万円）となった。
- 営業活動によるキャッシュ・フローは、5百万円の支出（同920百万円の収入）となった。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、43百万円の支出（同63百万円の支出）となった。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、99百万円の支出（同309百万円の支出）となった。



Emergency Assistance Japan

— アシスタンスで
お客様の世界を広げる —

事業・サービスの
状況

当社事業

【医療アシスタンス事業】

海外旅行保険付帯のアシスタンスサービス

海外旅行保険加入者が、海外において被った怪我や病気等に対してアシスタンスサービスを提供。

法人向けアシスタンスサービス

企業や官公庁等の海外在勤者や海外出張者に対して、医療アシスタンスサービスを提供し、企業等の海外リスク対応を支援。また、海外での身体的・社会的不穏（セキュリティ）リスクの管理及びセキュリティ危機対応のためのサービスを主として企業向けに提供。

学校向け医療アシスタンスサービス

海外留学する学生に対して、現地での医療アシスタンスサービスを提供し、学校の留学安全対策を支援。

【ライフアシスタンス事業】

クレジットカード会員向けコンシェルジュサービス

ハイエンドクレジットカード会員に対して、主に海外でのコンシェルジュサービスを提供。

救急救命アシスタンスサービス

救急救命士・看護師を活用した国内外での健康危機管理、エマージェンシー対応、救助・救急などのサービスを提供。

外国人患者受入の医療ツーリズム

日本での高度医療や健康診断の受診を希望する外国人に来日及び受診にかかわる一連のコーディネートサービスを提供。

訪日・在留外国人向け緊急対応型アシスタンスサービス

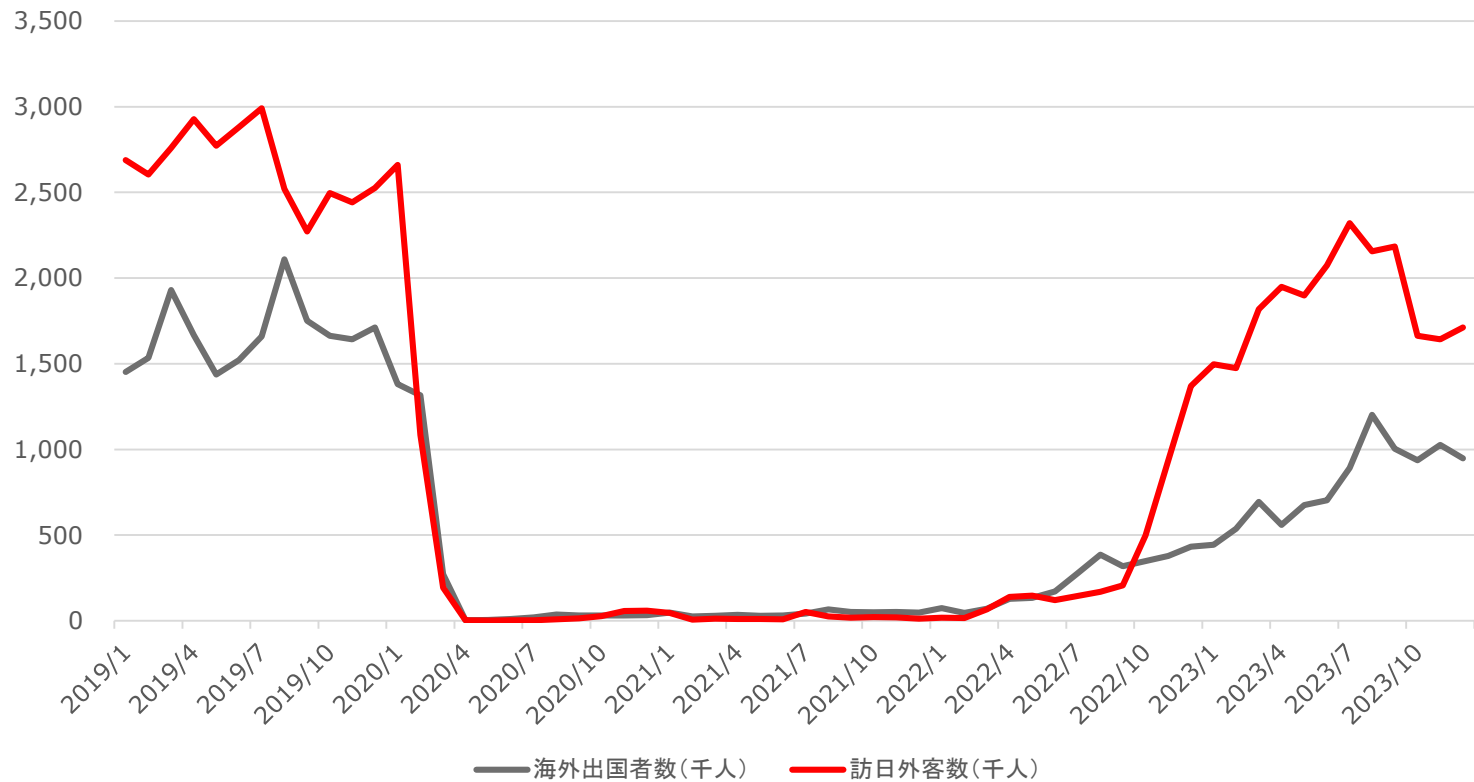
病気や怪我で治療が必要となった訪日外国人や在留外国人に対して医療アシスタンスサービスを提供。

官公庁受託アシスタンスサービス

医療機関における外国人患者受入れの円滑化のためのサポートを提供。

海外出国者・入国者数の推移

- ウィズコロナにともない海外出国者数・訪日外客数ともに回復傾向が見られる。



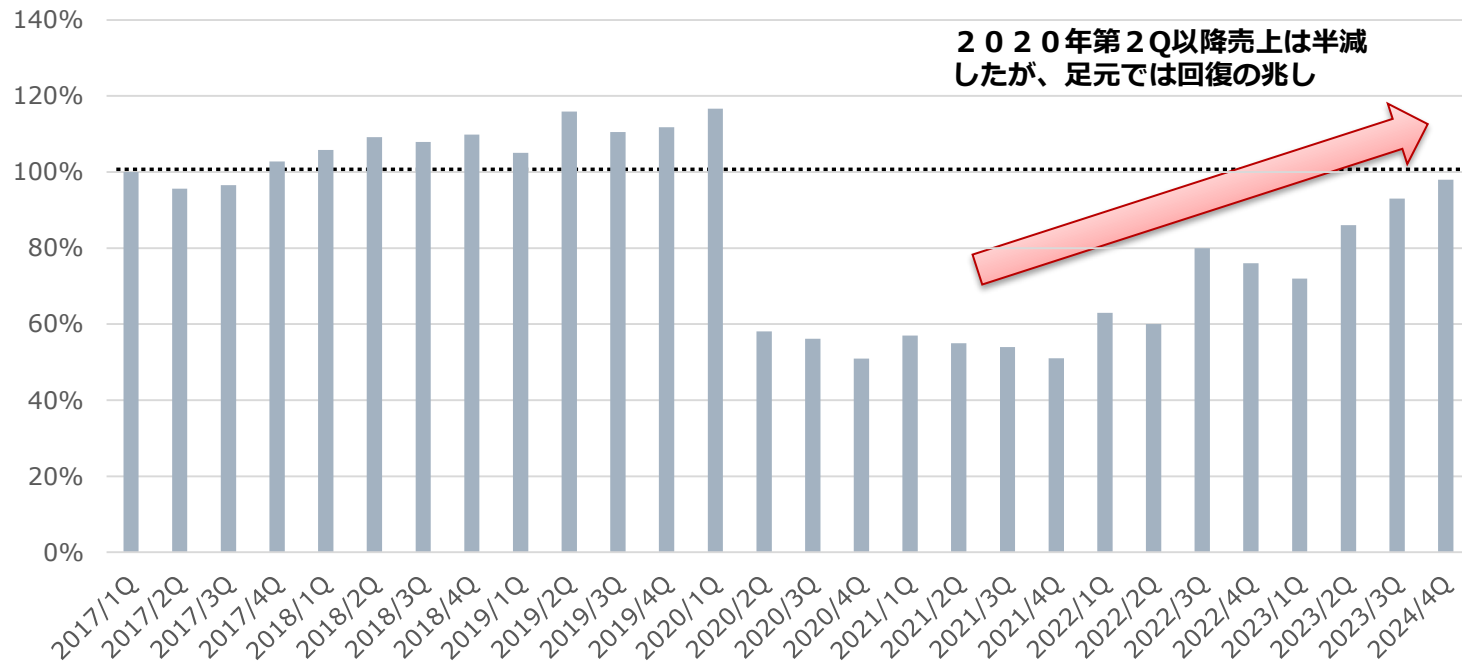
出典：日本政府観光局 (JNTO)

海外旅行保険の付帯サービス

- 海外旅行保険付帯のアシスタンスサービスは、ウィズコロナにともない出国日本人数が徐々に増加傾向にあり、売上高は前期比で増加。

海外旅行保険付帯医療アシスタンス売上推移

※2017年第1Qの売上高を100%とした場合



法人向け医療/セキュリティ・アシスタンスサービス 留学生危機管理サービス

- 医療アシスタンスサービスとセキュリティ・アシスタンスサービスを法人に、留学生危機管理サービスとセキュリティ・アシスタンスサービスを大学等の学校法人に提供。
- 企業が海外に進出する際に求められる安全・危機管理対策は重要性を増しており、海外出張者のみならず、現地赴任者についても本社主導による安全配慮義務の履行が求められ、セキュリティ・アシスタンスサービスの需要が増加。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止策の需要が減少したことから、法人向け医療アシスタンス売上は前期比で若干減少したが、セキュリティ・アシスタンスサービスは、前期比で増加した。また、大学向けの留学生危機管理サービスは、留学の再開が顕著となり、売上高が前期比で増加。

救急救命アシスタンス事業

- 企業の海外進出に伴う安全配慮義務などの海外危機管理の必要性の高まりに備え、医師・看護師・救急救命士が現場プラント、僻地サイトに常駐して現地医療体制を構築し、緊急時の救急対応と健康管理および傷害発生の未然防止を推進するサービスを民間企業に提供。

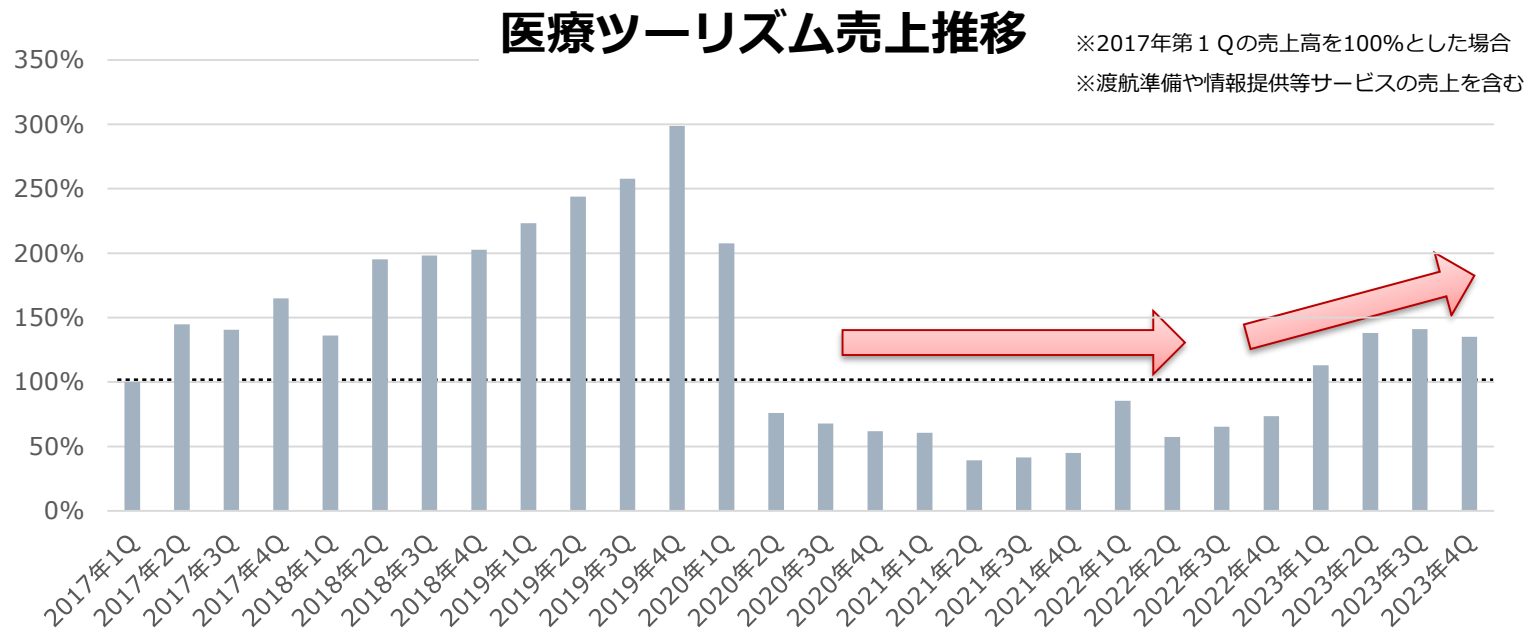
「EA」プロジェクトアシスト」を民間企業に提供

【プロジェクト型 救急救命アシスタンスサービスのイメージ】



国際医療事業（医療ツーリズム）

- 医療ツーリズム売上は、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準には戻っていないものの、売上高は前期比で増加しており、国内医療機関ネットワーク網の拡充を推進。
- 中国からの患者受入の再開を期し、当社中国オフィスでの営業活動、WeChat等のSNSツールによる広告宣伝を強化中。



官公庁受託事業

- **外国人患者受入れ医療機関対応支援事業**

(夜間・休日ワンストップ窓口及び希少言語に対応した遠隔通訳サービス)

- 相談窓口の運用
- 希少言語に対応した遠隔通訳サービスの運用
- 周知活動

- **都道府県等ワンストップ窓口業務**

- 上記外国人患者受入れ医療機関対応支援事業（夜間・休日ワンストップ窓口及び希少言語に対応した遠隔通訳サービス）に連携する平日日中における都道府県等ワンストップ窓口業務を大阪府および岐阜県高山市から受託。
- 今後も各地方自治体による平日日中における当該業務の事業化が進められ、入札等が実施される際には積極的な獲得を目指す。

新規事業 (Assistance Cloud Service)

弊社は、官公庁受託事業で育てた新規サービスをより広い分野に展開することで、収益基盤の拡充を目指します。提供するの、平時から有事の危機に備え、あらゆるアシスタンスのシーンを支えるパッケージサービスです。

ACS (Assistance Cloud Service) とは

- 業務の効率化を目指したDX戦略により、企業を支えるサービス基幹システム*を開発

*本基幹システムにより、顧客の全情報をデータベースに一元管理し、連携するアプリ等のデジタルモジュールの機能制御を行うことが可能

- ACSは、「基幹システム」と「デジタルモジュール」と「人的対応サービス*」を組み合わせたパッケージサービス

*EAJがアシスタンス事業で培った専門的オペレーション部門のサービスや、数々の官公庁受託事業で実績を積んだ企画や広報（HP制作等）機能

- ACSを提供する対象顧客は、官公庁や地方自治体を中心に、サービス企業や製造業と幅広く、新たな事業獲得の取組みに着手しており、2024年度以降の売上計上を目指し、入札案件等に向けた準備を進めている。

Emergency Assistance Japan

— アシスタンスで
お客様の世界を広げる —

インバウンド
重点事業

メディカル・ヘルスケアツーリズム①

● インバウンド需要を補促する事業戦略

- 健康診断 : 有名クリニック・病院とのタイアップによる、アジア（特に中国、アセアン）の訪日健康診断ニーズを捕捉。大腸内視鏡検査、ホテル、ショッピングなどを含めた総合パッケージプランの提供。
- 渡航治療 : 医療機関との関係強化による先進医療（陽子線、重粒子線によるがん治療など）、高度治療、精密検査などのアレンジ。
- ヘルスケア : 専門クリニックとのタイアップによる幹細胞治療、ウェルエイジング美容医療、菌ドック、サプリメント提供などのアレンジ。

● 中国現地法人を活用した営業活動を強化

- 中国現地法人（北京本社、上海、大連等の各支店）における富裕層訪日客の捕捉、現地エージェントとの集客タイアップ強化、セミナー出講、SNS（Weibo、WeChat等）の情報発信等による訪日医療ツーリズム営業を強化。

メディカル・ヘルスケアツールズ②

- メディカル・ヘルスケアツールズサービスのWebサイトリニューアル



このたび「EAJのメディカル・ヘルスケアツールズ」として海外から日本の医療を目的に来日する海外のお客様にさらに使いやすく、情報を効率的に提供するための新しいWebサイトを公開。 <https://maj.emergency.co.jp/>

訪日外国人向け緊急対応型医療アシスタンス事業

- **コロナ禍終了後のツーリズム復活により需要拡大**
 - ウィズコロナにおいて、訪日外客数が新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に迫る勢いで急増していることに比例し、日本国内での外国人の傷病発生に対する医療アシスタンスサービスの提供機会が増加しており、売上高は増加。
- **海外現地法人等（6カ国）を活用した営業活動を強化**
 - インバウンド医療アシスタンスサービスのシェア拡大を目指して、当社グループの海外子会社を通じ海外の損害保険会社やアシスタンス会社との提携関係を構築する営業活動を推進。
- **日本の医療機関ネットワークを最大限活用**
 - 複数言語に対応した外国人の受診をサポート。
 - 約1400の医療機関でのキャッシュレス受診サービスを提供。

Emergency Assistance Japan

— アシスタンスで
お客様の世界を広げる —

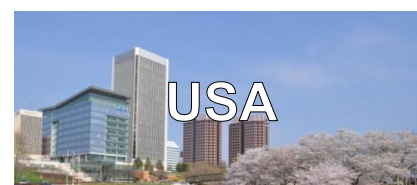
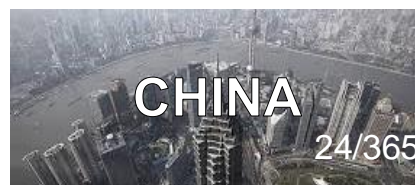
会社情報

会社概要

– CORPORATE PROFILE –

社名 日本エマージェンシーアシスタンス株式会社
設立 2003年1月16日
本社 〒112-0002
東京都文京区小石川1丁目21番14号
TEL 03-3811-8121 (代表)
FAX 03-3811-8159
従業員数 連結 229名 (役員、社員、パートを含む)
単体 164名 (2023年12月31日現在)
資本金 312百万円
決算期 12月決算
株 式 東京証券取引所スタンダード
証券コード6063 (2013年7月16日上場)

拠点



経営陣紹介



代表取締役社長
倉田 潔



取締役副社長
Dr. Sol Edelstein



取締役
吉井 眞一



取締役
藤本 康二



取締役監査等委員
土屋 聡美



取締役監査等委員（非常勤）
勝田 和行



取締役監査等委員（非常勤）
三宅 秀夫

当社ビジネスの強み

強みの源泉

●サービス品質の高さ

複数の言語を話すことができ、保険と現地医療事情に精通しているスタッフによるサービスの提供。

有事の際の医療搬送は日本人顧問医師が判断し、専門の医療チームにより遂行。

きめ細かいプロフェッショナル・クオリティで困難な課題を解決。

●高い新規参入障壁

新規参入には、全世界を網羅する医療機関等のプロバイダーのネットワーク網の構築ならびにバイリンガルのコーディネーター等優秀な人材の獲得・教育が必要である。

優位性

●国際医療搬送などの専門性を持ち、医療アシスタンスの全領域をカバー

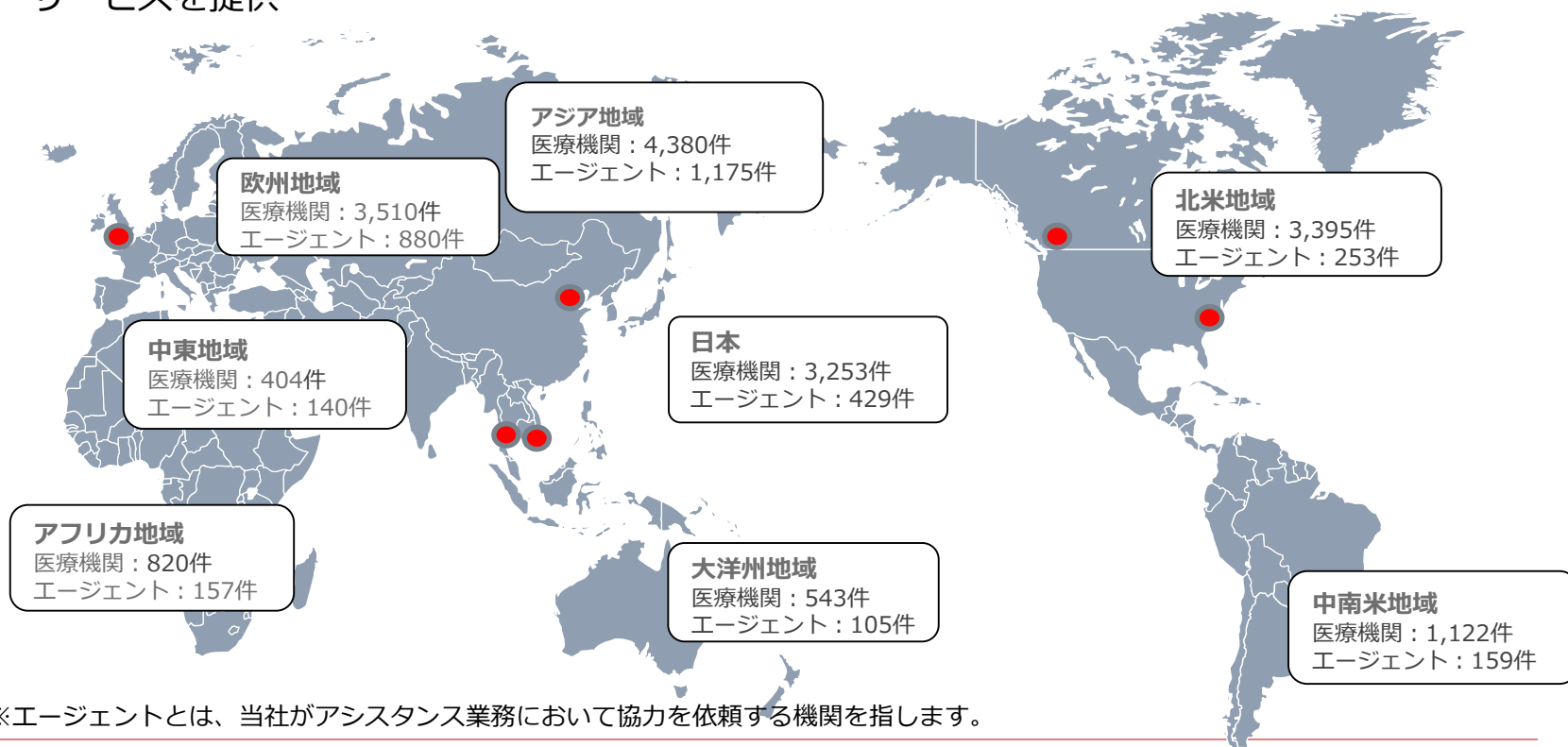
海外で病気や怪我をした患者様からの電話の受付、医療機関紹介から搬送までをワンストップで実施する会社は日本企業では当社だけである。

●インバウンド（外国人患者受入）事業のリーディングカンパニー

外国人患者受入で業界でも主導的地位を保持し（医療滞在ビザ身元保証機関登録第1号）、医療渡航支援企業に国内で初めて認証される。また、外国人患者受入れ医療機関対応支援事業（夜間・休日ワンストップ窓口及び希少言語に対応した遠隔通訳サービス）の実施事業者として、訪日・在日外国人患者への医療提供のための体制づくりを牽引するポジションにある。

E A Jのネットワーク

- 6ヶ国に海外センターを配置（米国、中国、タイ、シンガポール、英国、カナダ）
- 拠点数は全世界で11カ所、グループ要員数は234名（※非正社員を含む）
- 世界各国で提携関係にある約17,000件の医療機関と約3,200件の海外エージェントを活用しサービスを提供



※エージェントとは、当社がアシスタンス業務において協力を依頼する機関を指します。

EAJのミッション・行動指針

お客様が世界のどこにおられても、EAJが医療やライフスタイルなどの分野でお手伝いをし、安心して活躍いただけること、「アシスタンスでお客様の世界を広げる」をミッションとして、自国とは違ったクロスボーダー、クロスカルチャー環境下でのお客様の生活をご支援するため、縁の下の力持ちとして汗をかかせていただくことがEAJの仕事です。

お客様対応を行うコーディネーターは、緊急事態には「もし自分の家族だったらどうする」を常に頭において、きっちりとした仕事をいたします。その際右記の「HSC」を忘れません。

「ジャパン・スタンダード・アシスタンス」が、世界でも最高品質のサービスとして認知され、EAJが日本のお客様のみならず、アジアや世界の様々な国のお客様にご利用いただき、いずれは世界最大のアシスタンス会社となるよう私たちは日々チャレンジし、全力を尽くします。

Heart

日本人の美徳のひとつでもある思いやりの心を、いかなる時も忘れない。

Skill

お客様により良いサービスを提供するため、知識と経験を深める。

Communication

お気持ちを察し、言葉には聞こえてこない声を受け止める。

アシスタンスを通じて、お客様が安心して新しい世界へ
踏み出していただけるようにする。

それがE A Jのミッションです。

「アシスタンスでお客様の世界を広げる」



日本エマージェンシーアシスタンス株式会社

本説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらの不確実性には、業界ならびに市場の状況、金利、為替変動、国内外の事業に影響を与える政府の法規制といった国内及び国際的な経済状況などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

また、当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断において行われるようお願いいたします。